

学生募集要項

2023



令和 5 年 4 月入学

【一般入試】

【社会人入試】

【外国人留学生入試】

大学院 人文社会芸術総合研究科 人文社会芸術総合専攻 (修士課程)

- 心理学プログラム
- 人文・芸術プログラム
- 共創経済プログラム

令和 4 年 6 月

富山大学

新型コロナウイルスの感染拡大等の不測の事態により、試験日程等本学生募集要項の内容を変更する場合があります。変更する必要がある場合は、本学ウェブサイトでお知らせいたしますので、最新の情報を確認するよう留意してください。

<https://www.u-toyama.ac.jp>

目 次

I 大学院人文社会芸術総合研究科（修士課程）入試の概要	1
II 心理学プログラム	3
1. 一般入試	
1) 募集人員	
2) 出願資格	
2. 社会人入試	
1) 募集人員	
2) 出願資格	
3. 外国人留学生入試	
1) 募集人員	
2) 出願資格及び出願要件	
4. 選抜方法	
5. 試験日程等	
6. 出願書類	
III 人文・芸術プログラム	7
1. 一般入試	
1) 募集人員	
2) 出願資格	
2. 社会人入試	
1) 募集人員	
2) 出願資格	
3. 外国人留学生入試	
1) 募集人員	
2) 出願資格及び出願要件	
4. 選抜方法	
1) 筆記試験	
2) 口述試験	
5. 試験日程等	
6. 出願書類	
IV 共創経済プログラム	12
1. 一般入試	
1) 募集人員	
2) 出願資格	
3) 選抜方法	
4) 試験日程等	
2. 出願書類	

V 共通事項 15

1. 出願期間及び出願方法
2. 出願資格の事前審査 ※該当者のみ
3. 入学検定料支払手順
4. 受験票の送付
5. 合格者発表
6. 入学手続
7. 注意事項
8. 志願者の個人情報保護について
9. 安全保障輸出管理について
10. 新型コロナウイルス感染症対策に伴う入学志願者への要請事項

VI 大学院人文社会芸術総合研究科（修士課程）の概要 21

1. 大学院人文社会芸術総合研究科の特長
2. 課程の修了，学位の授与
3. 大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例措置について
4. 長期履修制度について
5. 人文社会芸術総合研究科研究指導担当教員一覧

【添付書類】

1. 入学願書
2. 受験票・写真票
3. 志願理由書
4. 研究計画書
5. 収納証明書貼り付け台紙
6. 履歴書（外国籍を有する者のみ）
7. 安全保障輸出管理に関する誓約書
8. 提出作品・論文・ポートフォリオ証明書
（人文・芸術プログラム芸術文化学系志願者のみ）
9. 出願資格認定審査申請書（該当者のみ）
10. 検定料返還請求書（該当者のみ：出願書類ではありません）

I 大学院人文社会芸術総合研究科（修士課程）入試の概要

募集人員

専攻	プログラム名	募集人員
人文社会芸術総合専攻	心理学プログラム	5名
	人文・芸術プログラム	15名
	共創経済プログラム	18名
	合計	38名

※ 募集人員には、推薦入試、外国人留学生特別入試（指定校推薦）の募集人員を含みます。また、1次・2次を合わせた募集人員となります。

入学試験関係日程

事項	1次	2次
出願資格審査 照会期限 (該当者のみ)	令和4(2022)年6月30日(木)	令和4(2022)年11月30日(水)
出願資格審査 結果通知	令和4(2022)年7月12日(火)	令和4(2022)年12月12日(月)
出願期間	令和4(2022)年7月15日(金) ～ 22日(金)	令和4(2022)年12月19日(月) ～ 23日(金)
受験票発送 (投函日)	令和4(2022)年8月8日(月)	令和5(2023)年1月16日(月)
試験日	令和4(2022)年8月26日(金)	令和5(2023)年2月3日(金)※1 令和5(2023)年2月4日(土)※2
合格者発表	令和4(2022)年9月9日(金)	令和5(2023)年2月13日(月)
入学手続 (締切日)	令和5(2023)年1月25日(水) (予定)	令和5(2023)年3月8日(水) (予定)

※1 心理学プログラム、人文・芸術プログラム（人文科学系）及び共創経済プログラムについて実施します。

※2 人文・芸術プログラム（芸術文化学系）について実施します。

2次の募集要項は、11月上旬を目途として公表します。

人文社会芸術総合研究科入学者受入方針

本研究科は、人文科学、社会科学、芸術文化学についての強い関心と基礎的能力を有し、論理的思考力と創造性を持ち、文化、社会の発展に寄与しようとする意欲を備えている者を受け入れる。

1) 心理学プログラム

心理学についての強い関心と基礎的能力を有し、論理的思考力と創造性を持ち、文化の進展に寄与しようとする意欲を備えている者を受け入れる。

2) 人文・芸術プログラム

人文科学・芸術文化学についての強い関心と基礎的能力を有し、論理的思考力と創造性を持ち、文化の進展に寄与しようとする意欲を備えている者を受け入れる。

3) 共創経済プログラム

社会科学についての強い関心と基礎的能力を有し、論理的思考力と創造性を持ち、社会の進展に寄与しようとする意欲を備えている者を受け入れる。

II 心理学プログラム

1 一般入試

1) 募集人員

専攻	プログラム名	募集人員
人文社会芸術総合専攻	心理学プログラム	5名

2) 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 日本の大学を卒業した者及び令和5（2023）年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和5（2023）年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5（2023）年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5（2023）年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和5（2023）年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和5（2023）年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和5（2023）年3月修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、その後に入学者を本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると本研究科がみとめたもの
- (10) 令和5（2023）年3月31日で大学に3年以上在学した者、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本研究科が認めた者
- (11) 大学卒業までに16年を要しない国からの外国人留学生又はこれに準ずる者であって、次の二つの条件を満たし、かつ本研究科において、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもの
 - a. 大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関法人等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等としておおむね1年以上研究に従事した者及び令和5（2023）年3月31日までにおおむね1年以上研究に従事する見込みの者
 - b. 令和5（2023）年3月31日までに22歳に達する者
- (12) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和5（2023）年3月31日までに22歳に達するもの

※ 出願資格（9）・（10）・（11）・（12）により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査を行うので、「V 共通事項 2. 出願資格の事前審査」を参照し、所定の手続きを行ってください。

2 社会人入試

1) 募集人員

専攻	プログラム名	募集人員
人文社会芸術総合専攻	心理学プログラム	若干名

2) 出願資格

令和5（2023）年3月31日までに、原則として大学卒業後3年以上の社会人の経験を有し、かつ、次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- （1）日本の大学を卒業した者
- （2）学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- （3）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- （5）文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- （6）本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和5（2023）年3月31日までに25歳に達するもの

※ 出願資格（6）により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査を行うので、「V 共通事項 2. 出願資格の事前審査」を参照し、所定の手続きを行ってください。

3 外国人留学生入試

1) 募集人員

専攻	プログラム名	募集人員
人文社会芸術総合専攻	心理学プログラム	若干名

2) 出願資格及び出願要件

外国人留学生入試に出願できる者は、一般入試の出願資格（1）から（12）のいずれかに該当する者で、かつ、次の a, b, c を満たすものとします。

- a 日本国籍を有しない者
- b 「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を有する者又は入学後に在留資格を「留学」に変更できる見込みの者
- c 公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験（JLPT）N1の認定を受けた者

※ 出願資格（9）・（10）・（11）・（12）により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査を行うので、「V 共通事項 2. 出願資格の事前審査」を参照し、所定の手続きを行ってください。

4 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験及び提出された書類を総合して行います。

(1) 筆記試験

心理学に関する筆記試験を行います。なお、英語に関する内容が含まれる場合があります。

(2) 口述試験

心理学に関する口頭試問、志願理由書及び研究計画書に基づき志願者の修学条件、研究意欲、研究能力等を判定します。

5 試験日程等

日程	試験日	時間	科目等	試験場
1次	令和4(2022)年 8月26日(金)	9:00	受付	富山大学 五福キャンパス 人文学部
		10:00 ～ 12:00	筆記試験	
		13:00～	口述試験	

6 出願書類

出願書類	摘要
① 入学願書	本学所定の用紙による。
② 写真票・受験票	本学所定の用紙による。 出願前3か月以内に撮影した上半身脱帽、正面写し、縦4cm、横3cmの写真を貼り付け、所要事項を記入してください。
③ 学業成績証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの。
④ 卒業(見込)証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの。なお、本学学部卒業見込出身者は提出する必要はありません。 外国人留学生でやむを得ず提出できない場合は必ず卒業証書本紙を事前に受付窓口へ呈示し、卒業証書の写しを提出してください。
⑤ 入学検定料 (30,000円) ※必ず本学所定の台紙に「収納証明書」を貼り付けて提出すること。	入学検定料は、「V共通事項 3. 入学検定料支払手順」に従って、入学検定料支払いサイトから支払手続を行ってください。 入学検定料の支払方法は、日本国内の場合は、コンビニエンスストア、クレジットカード、ネットバンキング、ペイジー対応郵便局・銀行ATMのいずれかとなります。日本国外の場合は、クレジットカードでお支払いください。 入学検定料の支払後、「収納証明書」を入学検定料支払いサイトからダウンロードして印刷し、「収納証明書貼り付け台紙」の所定欄に貼り付けてください。 入学検定料支払いサイト https://e-apply.jp/n/toyama-gs-payment/ 注意事項 ・入学検定料のほか、手数料が別途必要です。 ・支払手続時に登録する「氏名」「住所」等は入学願書に記載した「氏名」「現住所」と同一にしてください。 ・出願期間の1週間前から入学検定料の支払手続が可能です。
⑥ 志願理由書および研究計画書	本学所定の用紙による。

⑦	受験票等送付用封筒 (長形3号)	長形3号の封筒に郵便番号及びあて名を明記し、 <u>344円分の郵便切手</u> を貼り付けてください。
⑧	学位授与証明書または学位授与申請(予定)証明書	【出願資格(2)に該当する者のみ提出】 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行するもの、もしくは短期大学長または高等専門学校長が発行する学位授与申請(予定)証明書。
⑨	履歴書	【外国籍を有する者のみ提出】 本学所定の用紙による。
⑩	住民票の写し	【日本国内に居住している外国籍を有する者のみ提出】 居住している市・区・町・村長の発行のもの(在留資格が明示されているもの)。
⑪	日本語能力試験N1の成績通知書等	【外国籍を有する者のみ提出】 公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験N1の成績通知書(写)を提出してください。
⑫	誓約書	本要項の「V共通事項 9. 安全保障輸出管理について」及び誓約書の内容を確認し、出願者本人が自署の上、必ず提出してください。

- 提出書類のうち、③、④、⑥、⑨について、外国語で記載されたものは、日本語訳を添付してください。

Ⅲ 人文・芸術プログラム

1. 一般入試

1) 募集人員

専攻	プログラム名	区分	募集人員
人文社会芸術総合専攻	人文・芸術プログラム	人文科学系	15名
		芸術文化学系	

※ 募集人員には、社会人入試、外国人留学生入試、外国人留学生特別入試（指定校推薦）の募集人員を含みます。

2) 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 日本の大学を卒業した者及び令和5（2023）年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和5（2023）年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5（2023）年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5（2023）年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和5（2023）年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和5（2023）年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和5（2023）年3月修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、その後に入学者を本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると本研究科が認めたもの
- (10) 令和5（2023）年3月31日で大学に3年以上在学した者、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本研究科が認めた者
- (11) 大学卒業までに16年を要しない国からの外国人留学生又はこれに準ずる者であって、次の二つの条件を満たし、かつ本研究科において、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもの
 - a. 大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関法人等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等としておおむね1年以上研究に従事した者及び令和5（2023）年3月31日までにおおむね1年以上研究に従事する見込みの者
 - b. 令和5（2023）年3月31日までに22歳に達するもの
- (12) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和5（2023）年3月31日までに22歳に達するもの

※ 出願資格（9）・（10）・（11）・（12）により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査を行うので、「V 共通事項 2. 出願資格の事前審査」を参照し、所定の手続きを行ってください。

2. 社会人入試

1) 募集人員

専攻	プログラム名	区分	募集人員
人文社会芸術総合専攻	人文・芸術プログラム	人文科学系	若干名
		芸術文化学系	

2) 出願資格

令和5（2023）年3月31日までに、原則として大学卒業後3年以上の社会人の経験を有し、かつ、次の各号のいずれかに該当する者とします。

- （1）日本の大学を卒業した者
- （2）学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者
- （3）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- （5）文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- （6）本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和5（2023）年3月31日までに25歳に達するもの

※ 出願資格（6）により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査を行うので、「V 共通事項 2. 出願資格の事前審査」を参照し、所定の手続きを行ってください。

3. 外国人留学生入試

1) 募集人員

専攻	プログラム名	区分	募集人員
人文社会芸術総合専攻	人文・芸術プログラム	人文科学系	若干名
		芸術文化学系	

2) 出願資格及び出願要件

外国人留学生入試に出願できる者は、一般入試の出願資格（1）から（12）のいずれかに該当する者で、かつ、次のa、bを満たすものとします。ただし、人文科学系志願者は、a、bに加え、cを満たすことを条件とします。

- a 日本国籍を有しない者
- b 「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格を有する者又は入学後に在留資格を「留学」に変更できる見込みの者
- c 【人文科学系志願者のみ】公益財団法人日本国際教育支援協会及び独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験（JLPT）N1の認定を受けた者

※ 出願資格（9）・（10）・（11）・（12）により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査を行うので、「V 共通事項 2. 出願資格の事前審査」を参照し、所定の手続きを行ってください。

4. 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験及び提出された書類を総合して行います。

1) 筆記試験

- ① 人文科学系を志望する場合の筆記試験は、志望研究領域に関する筆記試験を行います。なお、英語又は希望する研究領域に応じた外国語に関する内容が含まれる場合があります。各研究領域における試験内容は以下のとおりです。

	研究領域	試験内容
人文科学系	哲学・人間学	哲学・倫理思想・宗教思想に関する選択問題。
	歴史文化	歴史学全般に関する知識および志望研究分野（日本史学・東洋史学・西洋史学・考古学）の専門的知識を問う。
	言語学	言語学および音声学に関する知識を問う。
	社会学	基礎用語と研究方法に関する理解を問う。
	人文地理学	さまざまな地図や統計データを適切に読み取り論述する能力、地理学に関する専門用語についての基礎的知識を問う。
	文化人類学	文化人類学の基礎的知識およびフィールドワークの技能を問う。
	スポーツ文化史	スポーツの歴史に関する基礎的知識を問う。
	スポーツ人類学	スポーツ人類学に関する基礎的知識を問う。
	日本言語文化	「日本語学」もしくは「日本文学」のいずれかを選択。
	朝鮮言語文化	朝鮮語学・朝鮮文学の知識を問う。
	中国言語文化	中国語学・中国文学に関する知識を問う。
	英語学	英語力と英語学の知識を問う。
	イギリス言語文化	英語の読解力、およびイギリス文学・文化に関する知識を問う。
	アメリカ言語文化	英語の読解力、およびアメリカ文学・文化に関する知識を問う。
	ドイツ言語文化	ドイツ語力を見る問題のほかに、ドイツ語学・ドイツ文学に関する知識を問う。
フランス言語文化	フランス語の総合的な理解力、およびフランス文学・文化の知識を問う。	
ロシア言語文化	ロシア語の総合的な理解力、およびロシア文学・文化の知識を問う。	

- ② 芸術文化学系を志望する場合の筆記試験は、小論文を行います。

芸術文化学系	小論文
--------	-----

2) 口述試験

- ① 人文科学系を志望する場合の口述試験
研究領域に関する口頭試問、志願理由書及び研究計画書に基づき志願者の修学条件、研究意欲、研究能力等を判定します。
- ② 芸術文化学系を志望する場合の口述試験
志願理由書及び研究計画書に基づき志願者の修学条件、研究意欲、研究能力等を判定します。

5. 試験日程等

試験日	学系	時間	科目等	試験場
令和4(2022)年 8月26日(金)	人文科学系	9:00～	受付	富山大学 五福キャンパス 人文学部
		10:00～12:00	筆記試験 (専門科目)	
		13:00～	口述試験	
	芸術文化学系	9:45～	受付	富山大学 高岡キャンパス 芸術文化学部
		10:30～12:00	筆記試験 (小論文)	
		13:00～	口述試験	

6. 出願書類

出願書類	摘要
① 入学願書	本学所定の用紙による。
② 写真票・受験票	本学所定の用紙による。 出願前3か月以内に撮影した上半身脱帽、正面写し、縦4cm、横3cmの写真を貼り付け、所要事項を記入してください。
③ 学業成績証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの。
④ 卒業(見込)証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの。なお、本学学部卒業見込出身者は提出する必要はありません。 外国人留学生でやむを得ず提出できない場合は必ず卒業証書本紙を事前に受付窓口へ呈示し、卒業証書の写しを提出してください。
⑤ 入学検定料 (30,000円) ※必ず本学所定の台紙に 「収納証明書」を貼り付けて 提出すること。	入学検定料は、「V共通事項 3. 入学検定料支払手順」に従って、入学検定料支払いサイトから支払手続きを行ってください。 入学検定料の支払方法は、日本国内の場合は、コンビニエンスストア、クレジットカード、ネットバンキング、ペイジー対応郵便局・銀行ATMのいずれかとなります。日本国外の場合は、クレジットカードでお支払いください。 入学検定料の支払後、「収納証明書」を入学検定料支払いサイトからダウンロードして印刷し、「収納証明書貼り付け台紙」の所定欄に貼り付けてください。 入学検定料支払いサイト https://e-apply.jp/n/toyama-gs-payment/ 注意事項 ・入学検定料のほか、手数料が別途必要です。 ・支払手続き時に登録する「氏名」「住所」等は入学願書に記載した「氏名」「現住所」と同一にしてください。 ・出願期間の1週間前から入学検定料の支払手続きが可能です。
⑥ 志願理由書および研究計画書	本学所定の用紙による。
⑦ 受験票等送付用封筒 (長形3号)	長形3号の封筒に郵便番号及びあて名を明記し、 <u>344円分の郵便切手</u> を貼り付けてください。
⑧ 学位授与証明書または学位授与申請(予定)証明書	【出願資格(2)に該当する者のみ提出】 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行するもの、もしくは短期大学長または高等専門学校長が発行する学位授与申請(予定)証明書。

⑨	論文又はポートフォリオ ^注	<p>【芸術文化学系志願者のみ提出】 論文（卒業論文やその草稿，著作など）又はポートフォリオ（作品・研究などをまとめたファイル）を1部提出してください。なお，論文については，その概要も提出してください。提出の際は「提出作品・論文・ポートフォリオ証明書－添付用」（本学所定の用紙）を論文又はポートフォリオに貼り付け，あわせて「提出作品・論文・ポートフォリオ証明書－申告用」（本学所定の用紙）を提出してください。なお，ポートフォリオはA3（見開きA2）以内とします。</p>
⑩	履歴書	<p>【外国籍を有する者のみ提出】 本学所定の用紙による。</p>
⑪	住民票の写し	<p>【日本国内に居住している外国籍を有する者のみ提出】 居住している市・区・町・村長の発行のもの（在留資格が明示されているもの）。</p>
⑫	日本語能力試験の成績通知書等	<p>【人文科学系志願者・外国籍を有する者のみ提出】 （独）国際交流基金及び（財）日本国際教育協会が実施する日本語能力試験N1の成績通知書を提出してください。</p> <p>【芸術文化学系志願者・外国人留学生入試出願者のみ提出】 （独）国際交流基金及び（財）日本国際教育協会が実施する日本語能力試験の成績通知書等又は（独）日本学生支援機構が実施する日本留学試験（日本語）の成績通知書等（写しでも可）を提出してください。</p>
⑬	誓約書	本要項の「V 共通事項 9. 安全保障輸出管理について」及び誓約書の内容を確認し，出願者本人が自署の上，必ず提出してください。

○出願書類のうち，③，④，⑥，⑨，⑩について，外国語で記載されたものは，日本語訳を添付してください。

注 ポートフォリオ提出者のうち，作品の提出を希望する者は，試験当日に持参し，受付を行ってください。作品は，口述試験の際に試験室内へ持ち込むことが可能です。以下に従って提出してください。

- ① 作品には，「提出作品・論文・ポートフォリオ証明書－添付用」（本学所定の用紙）を貼っておいてください。貼っていない場合は受け付けることができません。
- ② 「提出作品・論文・ポートフォリオ証明書－申告用」（本学所定の用紙）を受付に提出してください。
- ③ 作品は，1点のみ提出することができます。なお，作品は受験者本人が独力で持ち込み可能なものとします。
（作品の大きさ等の目安）
 - ・平面：30号以内
 - ・立体：およそ0.2立方メートル以内
 - ・映像：3分以内にまとめたもの。
（機材については各自再生可能なパソコン等を持参してください。）

出願の際に提出した論文及びポートフォリオについても，口述試験の際に試験室へ持ち込むことが可能です。なお，提出した論文，ポートフォリオ，作品については，試験当日に返却します。

IV 共創経済プログラム

1 一般入試

1) 募集人員

専攻	プログラム名	募集人員
人文社会芸術総合専攻	共創経済プログラム	18名

※ 募集人員には、推薦入試、外国人留学生特別入試（指定校推薦）の募集人員を含みます。なお、一般入試では、社会人、外国人留学生も併せて募集します。

2) 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。

- (1) 日本の大学を卒業した者及び令和5（2023）年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び令和5（2023）年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5（2023）年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和5（2023）年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和5（2023）年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和5（2023）年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和5（2023）年3月修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、その後に入学者を本学大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると本研究科が認めたもの
- (10) 令和5（2023）年3月31日で大学に3年以上在学した者、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したと本研究科が認めた者
- (11) 大学卒業までに16年を要しない国からの外国人留学生又はこれに準ずる者であって、次の二つの条件を満たし、かつ本研究科において、日本の大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めたもの
 - a. 大学教育修了後、日本国内又は国外の大学若しくは大学共同利用機関法人等これに準ずる研究機関において、研究生、研究員等としておおむね1年以上研究に従事した者及び令和5（2023）年3月31日までにおおむね1年以上研究に従事する見込みの者
 - b. 令和5（2023）年3月31日までに22歳に達する者
- (12) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和5（2023）年3月31日までに22歳に達するもの

※ 出願資格（9）・（10）・（11）・（12）により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査を行うので、「V 共通事項 2. 出願資格の事前審査」を参照し、所定の手続きを行ってください。

3) 選抜方法

入学者の選抜は、筆記試験、口述試験を総合して行います。

(1) 筆記試験

出願時に提出された論文をもって代えます。

(2) 口述試験

志願理由書、研究計画書及び論文に基づき志願者の修学条件、研究意欲、研究能力等を判定します。

4) 試験日程等

試験日	時間	科目等	試験場
令和4（2022）年 8月26日（金）	13：15	集合	富山大学 五福キャンパス 経済学部
	13：30～	口述試験	

3. 出願書類

出願書類	摘要
① 入学願書	本学所定の用紙による。
② 写真票・受験票	本学所定の用紙による。 出願前3か月以内に撮影した上半身脱帽、正面写し、縦4cm、横3cmの写真を貼り付け、所要事項を記入してください。
③ 学業成績証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの。
④ 卒業（見込）証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの。なお、本学学部卒業見込出身者は提出する必要はありません。 外国人留学生でやむを得ず提出できない場合は必ず卒業証書本紙を事前に受付窓口へ呈示し、卒業証書の写しを提出してください。
⑤ 入学検定料 (30,000円) ※必ず本学所定の台紙に「収納証明書」を貼り付けて提出すること。	入学検定料は、「V 共通事項 3. 入学検定料支払手順」に従って、入学検定料支払いサイトから支払手続きを行ってください。 入学検定料の支払方法は、日本国内の場合は、コンビニエンスストア、クレジットカード、ネットバンキング、ペイジー対応郵便局・銀行ATMのいずれかとなります。日本国外の場合は、クレジットカードでお支払いください。 入学検定料の支払後、「収納証明書」を入学検定料支払いサイトからダウンロードして印刷し、「収納証明書貼り付け台紙」の所定欄に貼り付けてください。 入学検定料支払いサイト https://e-apply.jp/n/toyama-gs-payment/ 注意事項 ・入学検定料のほか、手数料が別途必要です。 ・支払手続き時に登録する「氏名」「住所」等は入学願書に記載した「氏名」「現住所」と同一にしてください。 ・出願期間の1週間前から入学検定料の支払手続きが可能です。
⑥ 志願理由書および研究計画書	本学所定の用紙による。
⑦ 受験票等送付用封筒（長形3号）	長形3号の封筒に郵便番号及びあて名を明記し、 <u>344円</u> 分の郵便切手を貼り付けてください。

⑧	学位授与証明書または学位授与申請（予定）証明書	【出願資格（2）に該当する者のみ提出】 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行するもの、もしくは短期大学長または高等専門学校長が発行する学位授与申請（予定）証明書。
⑨	論文 ^注	入学後の研究計画に関連した事項についてテーマを設定し、5,000字程度（英文の場合は、2,000words程度）で作成してください（様式任意、A4判、40字×30行で、word等によって作成することが望ましい。）。
⑩	業績報告書	【業績を有する者のみ提出】 卒業論文、研究調査報告書等の業績を有する者は、その概要をまとめて提出してください。
⑪	履歴書	【外国籍を有する者のみ提出】 本学所定の用紙による。
⑫	住民票の写し	【日本国内に居住している外国籍を有する者のみ提出】 居住している市・区・町・村長の発行のもの（在留資格が明示されているもの）。
⑬	日本語能力試験 N1（1級）又は日本留学試験（日本語）の成績通知書等	【外国籍を有する者のみ提出】 （独）国際交流基金及び（財）日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験の成績通知書等又は（独）日本学生支援機構が実施する日本留学試験（日本語）の成績通知書等（写しでも可）を提出してください。 ただし、これらの成績通知書を提出できない場合は、提出できない理由を出願前に申し出てください。
⑭	誓約書	本要項の「V共通事項 9. 安全保障輸出管理について」及び誓約書の内容を確認し、出願者本人が自署の上、必ず提出してください。

- 提出書類のうち、③、④、⑥、⑨、⑩、⑪について、外国語で記載されたものは、日本語訳を添付してください。

注 論文作成にあたっての注意事項は、次のとおりです。

- ・以下の要件をどの程度備えているかが審査の基準となります。
 - テーマの設定が適切であるか。
 - 問題意識を明確にしているか。
 - 専門性を備えているか。
 - 論文としての体裁をなしているか。
 - 研究資料の引用が適切であるか。
- ・他の著作物を盗用してはいけません。

V 共通事項

1. 出願期間及び出願方法

試験区分		出願期間
心理学プログラム	一般入試 社会人入試 外国人留学生入試	令和4(2022)年7月15日(金) ～ 22日(金)16時まで
人文・芸術プログラム	一般入試 社会人入試 外国人留学生入試	
共創経済プログラム	一般入試	

志願者は、出願書類を取りそろえ、上記の出願期間内に書留速達郵便で送付してください。なお、本学所定の手紙は、富山大学ウェブサイトからダウンロードするものとし、配付はしませんので注意してください。

原則、出願は郵送とし、上記期間までに必着とします。やむを得ず持参する場合は、午前9時から午後4時まで受け付けます(土曜日、日曜日及び祝日は受け付けません)。期限後の提出は受理しません。ただし、令和4(2022)年7月21日(木)以前の消印(日本国内の郵便の消印に限る。)のある書留速達郵便に限り、出願期限以降に到着した場合でも受理します。

なお、封筒に「大学院人文社会芸術総合研究科入学願書在中」と朱書きしてください。

出願書類提出先

プログラム名	照会・提出先		
心理学プログラム	富山大学人文学部 (入試担当)	076-445-6138	五福キャンパス 〒930-8555 富山市五福 3190
人文・芸術プログラム (人文科学系)			
人文・芸術プログラム (芸術文化学系)	富山大学芸術文化学部 (入試担当)	0766-25-9133	高岡キャンパス 〒933-8588 高岡市二上町 180
共創経済プログラム	富山大学経済学部 (入試担当)	076-445-6410	五福キャンパス 〒930-8555 富山市五福 3190

2. 出願資格の事前審査 ※該当者のみ

一般入試(外国人留学生入試を含む)の出願資格(9)・(10)・(11)・(12)、社会人入試の出願資格(6)により出願しようとする者は、事前に個別の出願資格審査を行うので、上記出願書類提出先に照会のうえ、期日までに所定の書類を提出してください。

(1) 出願資格審査に必要とする書類

- 一般入試（外国人留学生入試を含む）の出願資格（9）,（10）の該当者について
 - ①出願資格認定審査申請書（本学所定の用紙）
 - ②学業成績証明書
 - ③出願者の所属する学科等の教育課程表
 - ④在学証明書, 在籍期間証明証又は卒業証明書
 - ⑤住民票の写し（日本国内に居住している外国籍を有する者のみ提出）
 - ⑥履歴書（様式任意, ただし外国籍を有する者は, 本学所定の用紙）
 - ⑦長形3号の返信用封筒（344円分の切手を貼付し, あて名, 郵便番号を明記したもの）

- 一般入試（外国人留学生入試を含む）の出願資格(11)の該当者について
 - ①出願資格認定審査申請書（本学所定の用紙）
 - ②卒業証明書
 - ③学業成績証明書
 - ④研究生, 研究員等として従事したことを証明する書類
 - ⑤住民票の写し（日本国内に居住している外国籍を有する者のみ提出）
 - ⑥履歴書（様式任意, ただし外国籍を有する者は, 本学所定の用紙）
 - ⑦長形3号の返信用封筒（344円分の切手を貼付し, あて名, 郵便番号を明記したもの）

- 一般入試（外国人留学生入試を含む）の出願資格(12), 社会人入試の出願資格(6)の該当者について
 - ①出願資格認定審査申請書（本学所定の用紙）
 - ②短期大学, 高等専門学校, 専修学校, 各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者は卒業（修了）証明書及び学業成績証明書
 - ③業績報告書
卒業論文, 研究調査報告書等の業績を有する者, あるいは実務経験や海外での活動経験等を有する者は, その概要をまとめて提出してください。
 - ④住民票の写し（日本国内に居住している外国籍を有する者のみ提出）
 - ⑤履歴書（様式任意, ただし外国籍を有する者は, 本学所定の用紙）
 - ⑥長形3号の返信用封筒（344円分の切手を貼付し, あて名, 郵便番号を明記したもの）

※ 各証明書は, 原本を提出してください。写しが提出された場合は受理しません。外国語で記載されたものについては, 日本語訳を添付してください。

(2) 書類提出期限

令和4（2022）年6月30日（木）16時まで

原則, 出願は郵送とし, 上記期間までに必着とします。

やむを得ず持参する場合は, 平日の9時から16時まで受け付けます。

期限後の提出は受理しません。

(3) 審査結果の通知

事前審査の結果は, 令和4（2022）年7月12日（火）までに本人宛に通知書を発送します。

3. 入学検定料支払手順

入学検定料支払手順

※ご利用にあたってはメールアドレス・インターネット接続環境・プリンター（A4出力）が必要です



出願は学生募集要項に記載の必要書類と入学検定料収納証明書を併せて郵送して完了となります。入学検定料支払いサイトから登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。



STEP 1 入学検定料支払いサイトへアクセス

入学検定料支払いサイト

▶ <https://e-apply.jp/n/toyama-gs-payment/> または、
大学ホームページ

▶ <https://www.u-toyama.ac.jp/admission/graduate-exam/graduate>
からアクセス



STEP 2 支払内容の登録

- ①画面の手順や留意事項を必ず確認してください。
- ②入学検定料の支払方法を選択してください。
- ③画面に従って支払内容の選択、必要事項を入力してください。
支払いに必要な番号を控えてください。



STEP 3 入学検定料の支払い

【コンビニ・ペイジー対応銀行ATMで支払う場合】

コンビニ（セブン・イレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、デイリーヤマザキ、セイコーマート）・ペイジー対応銀行ATM・ネットバンキング各種で入学検定料を払い込んでください。

※日本国内のみ利用可能

【クレジットカードで支払う場合】

お手元にクレジットカードのカード情報をご準備の上、画面に従って入学検定料をお支払ください。

（ご利用可能なクレジットカード）
VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード

※入学検定料の支払いには、別途手数料が必要です。



STEP 4 入学検定料「収納証明書」の印刷

検定料の支払完了後、「収納証明書」を入学検定料支払いサイトからダウンロードして印刷し、本学所定の台紙に貼り付けてください。



STEP 5 出願書類の提出

「収納証明書」及び他の出願書類と併せて出願期間内に届くように書留速達郵便で送付してください。

※出願書類の郵送先は学生募集要項を参照してください。



●支払内容の登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので、誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料支払い前であれば正しい内容で再登録することで、修正が可能です。

※「検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

4. 受験票の送付

受験票は、出願締切後に受験票送付用封筒記載の住所宛に郵送いたしますが、試験日の1週間前になっても受験票が届かない場合は、各プログラム出願書類提出先へ照会してください。

5. 合格者発表

以下の日時に合格者の受験番号を富山大学ウェブサイトに掲載するとともに本人に合格通知書を郵送します。

なお、電話その他による問い合わせには一切応じません。

発表日時 令和4（2022）年9月9日（金）15時

6. 入学手続

入学手続は次のとおり行いますが、詳細は合格者に通知します。

(1) 入学手続

令和5（2023）年1月25日（水）（予定）

(2) 入学手続時に要する経費

ア 入学料 282,000円（予定額）

上記の入学料は予定額であり、入学時に入学料を改定した場合は、新たな入学料を適用します。

また、納付された入学料は返還しません。

入学を辞退する場合は、必ず書面（任意様式）で手続をしてください。

イ その他

学生教育研究災害傷害保険等の経費が別途必要です。

(3) 入学手続期間内に手続を完了しない者は、入学辞退者として取り扱います。

(4) 授業料の納付について

入学後（前期分は5月、後期分は11月）にそれぞれ口座振替により納付することとします。

納付金額・納付方法等の詳細については、入学手続時に通知します。

〈参考〉令和4（2022）年度授業料 年額 535,800円

(5) 入学料、授業料とも、以下の条件を満たす者には、選考の上、全額または半額の免除を認める制度があります。

① 経済的理由により納付が困難ながら、学業優秀と認められる者

② 学資負担者が死亡するか、風水害等の特別の事情により納付が著しく困難であると認められる者

(6) 奨学金の貸与を希望する者には、選考の上、日本学生支援機構等から奨学金が貸与されます。

7. 注意事項

(1) 受験票は、本人宛に郵送します。受験の際は、必ず受験票を携帯してください。

(2) 試験当日は、それぞれの集合時刻までに各会場に集合し、受付をしてください。

(3) 出願手続き後の願書等記載事項の変更は一切認めません。また、出願書類は、返却する旨を明示している場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

(4) 一旦、受領した検定料は、次の場合を除き、返還しません。

① 検定料を払い込んだが富山大学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合 《返還額》 30,000円

② 検定料を二重に払い込んだ場合 《返還額》 30,000円

③ 検定料を多く払い込んだ場合 《返還額》 多く払い込んだ額

ただし、返還時の振込手数料は、受取人負担とします。

※返還請求の方法

別添の「検定料返還請求書」に必要事項を記入し、本学へ郵送してください。

なお、①及び②の場合は、必ず、「収納証明書」を貼り付けてください。

「送付先：〒930 - 8555 富山市五福 3190 富山大学財務部経理課

電話 076-445-6053」

- (5) 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (6) 障害等（視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱、怪我、発達障害等）があつて、受験上及び修学上特別な配慮を希望する志願者は、令和4（2022）年6月30日（木）までに各学部（入試担当）に申し出てください。また、申し出に基づき相談が必要となった場合、令和4（2022）年7月22日（金）までに申請書（様式は任意）に医師の診断書（写しでも可）を添え、提出してください。

8. 志願者の個人情報保護について

本学が保有する個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人富山大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。

- (1) 出願にあたって知り得た氏名、住所その他個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続、④入学者選抜方法等における調査・研究、⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 出願にあたって知り得た個人情報は、本学入学手続完了者についてのみ、入学後における①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、③授業料徴収に関する業務、④統計調査及び分析を行うために利用します。
- (3) 本学合格者についての受験番号、氏名及び住所に限り、関係団体である同窓会及び生活協同組合からの連絡を行うために利用する場合があります。なお、これらの団体からの連絡を希望しない場合は、各プログラム出願書類提出先まで、その旨を申し出てください。
- (4) 各種業務での利用にあたっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という）において行うことがあります。業務委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供しますが、守秘義務を遵守するよう指導します。

9. 安全保障輸出管理について

富山大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人富山大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供、貨物の輸出の観点から、安全保障輸出管理について、厳格な審査を行っています。規制されている事項に該当する場合は、入学を許可できない場合や希望する教育が受けられない、希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので、出願にあたっては注意してください。

なお、出願時に「安全保障輸出管理に関する誓約書」を提出していただきます。詳細については、本学ウェブサイトを参照してください。

【参考】「国立大学法人富山大学安全保障輸出管理規則」

URL <http://www3.u-toyama.ac.jp/soumu/kisoku/pdf/0110401.pdf>

10. 新型コロナウイルス感染症対策に伴う入学志願者への要請事項

1 感染防止のための注意事項

日頃から感染防止について心がけるとともに、朝などに体温測定を行い、体調の変化の有無を確認すること。

(参考) 受験生のみなさんへ ～新型コロナウイルス感染防止のための注意事項～

https://www.mext.go.jp/content/20201218-mext_daigakuc02-000005144_1.pdf



2 医療機関での受診

試験日の2週間程度前から、発熱・咳等の症状がある受験者はあらかじめ医療機関での受診を行ってください。

3 受験できない者

新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の方は受験できません。発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者*については、一定の条件のもと、受験できる場合がありますので、事前に連絡してください。

海外から日本に入国して受験する場合、入国後の待機期間中は受験できません。

* 濃厚接触者とは、保健所より「濃厚接触者に該当する」と伝えられた方を指します。

4 試験当日における対応

- ・ 発熱・咳等の症状のある受験者は、試験当日の検温で、37.5度以上の熱がある場合は受験を取り止めてください。また、37.5度までの熱はないものの、発熱や咳等の症状のある受験者は、その旨を試験監督者等に申し出てください。

- ・ 症状の有無にかかわらず、各自マスク（白・淡色無地を推奨、何らかの事情によりマスクの着用が困難な場合は、あらかじめ大学に相談すること）を持参し、試験場では、昼食時以外は常に着用し、休憩時間や昼食時、入退場時等における他者との接触、会話を極力控えてください。ただし、試験中の本人確認時等にマスクをはずすよう指示する場合があります。

- ・ 使用済マスク等を収納するビニール袋を必ず持参するようにしてください。

- ・ 本学では試験監督者及び試験場係員もマスクを着用します。

5 試験当日の服装，昼食

試験当日、試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、気温に留意し、上着など暖かい服装を持参してください。また、試験場においては、食堂や売店は使用できないため、昼食を持参し、あらかじめ指定された時間内に自席で食事をとってください。

6 手指消毒

試験当日は各試験場に消毒液を設置しますので、試験室への入退室を行うごとに、各自手指消毒を行ってください。また、使用済マスクや鼻をかんだ後のティッシュ等は、必ずビニール袋に入れ密閉してゴミ箱に捨ててください。

7 予防接種

他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において予防接種を受けておくことを推奨します。

8 「新しい生活様式」等の実践

日頃から、「三つの密」の回避や、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染症対策の徹底を行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に心がけてください。

9 3の受験できない者に該当する場合や試験当日の検温で37.5度以上の熱がある場合速やかに本学に連絡してください。また、試験終了後、14日以内に体調不良が認められた受験者は本学に連絡してください。

10 試験当日は、受験者控室及び付添者控室は設置しません。

11 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）をダウンロードしておくことが望ましいです。

なお、アプリから通知を受けたことにより直ちに濃厚接触者であることを意味するものではありません。

VI 大学院人文社会芸術総合研究科（修士課程）の概要

1. 大学院人文社会芸術総合研究科の特長

本研究科は、「”人”と”地”の健康」をキーワードとして、人文科学、社会科学、芸術文化学における各分野の高度な専門性を究めるとともに、領域を横断した複眼的視野を備えることにより、新たな価値、文化、社会を創ることができる人材を養成することを目的として、以下の3プログラムから構成されている。

- 心理学プログラム
- 人文・芸術プログラム
- 共創経済プログラム

2. 課程の修了，学位の授与

本研究科に2年以上在学して、所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文又は特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格した人には、以下の学位を授与します

心理学プログラム：修士（心理学）

人文・芸術プログラム：修士（文学）、修士（芸術文化学）

共創経済プログラム：修士（経済学）、修士（経営学）

3. 大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例措置について

大学院設置基準第14条では、「教育上特別の理由があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は期間において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる」旨が規定されています。

これを踏まえ、人文社会芸術総合研究科においては、本人の事情（所属先の勤務条件等）を考慮し、昼夜開講やその他の時間帯・時期等可能な範囲で相談に応じます。

4. 長期履修制度について

長期履修制度により計画的な履修ができます。本人からの入学時の申請に基づき、選考により、通常2年間の在学年数を3年間又は4年間に延長し、計画的に履修を行うことができます。この場合の授業料年額については、本来支払うべき授業料年額に標準修業年限（2年）を乗じて得た額を、長期履修期間の年数で除した額となります。

5. 人文社会芸術総合研究科研究指導担当教員一覧

心理学プログラム

氏名	専門分野
教授 喜田 裕子	臨床心理学, 心理臨床論, 統合的心理療法, 学校・保育臨床
教授 佐藤 徳	実験心理学, 知覚心理学, 意識, 自己, 行為と知覚, 身体
准教授 黒川 光流	社会心理学, 集団過程, 集団内葛藤, 対人コミュニケーション
准教授 坪見 博之	認知心理学, 意識, 注意, 記憶
准教授 西館 有沙	福祉心理学, 児童福祉, 社会的養護, 障害
講師 飯島 有哉	臨床心理学, 学校カウンセリング, 認知行動療法, 自殺予防
講師 近藤 龍彰	臨床心理学, 発達心理学, 発達臨床
講師 直原 康光	臨床心理学, 司法・犯罪心理学, 離婚・再婚, 夫婦間葛藤
講師 重松 潤	臨床心理学, 認知行動療法, ストレスマネジメント
講師 鈴木 拓朗	臨床心理学, 司法・犯罪心理学, 加害者臨床

人文・芸術プログラム 人文科学系

研究領域	氏名	専門分野
哲学・人間学	准教授 池田 真治	哲学, ライプニッツを中心とした近現代西洋哲学
	教授 田畑 真美	倫理学, 日本倫理思想史, 儒学・国学, 和辻倫理学
歴史文化	教授 鈴木 景二	日本史 古代社会文化史, 立山信仰と北陸地域の歴史
	准教授 中村 只吾	日本史 日本史(近世史)
	講師 長村 祥知	日本史 中世政治史, 歴史叙述
	教授 徳永 洋介	東洋史 宋元時代の政治と法制
	講師 林 美希	東洋史 隋唐時代の政治と軍事
	教授 青木 恭子	西洋史 ロシア近代史
	教授 小野 直子	西洋史 アメリカ医学史
	教授 徳橋 曜	西洋史 イタリア中・近世史
	准教授 入江 幸二	西洋史 西洋近世史, スウェーデン史
	准教授 南 祐三	西洋史 西洋近現代史, フランス史
	教授 次山 淳	考古学 日本考古学, 古墳出現期の社会史, 土器様式史
教授 高橋 浩二	考古学 日本考古学(弥生時代から古墳時代)	
言語学	准教授 安藤 智子	ロシア語および日本語の音声・音韻的特徴

研究領域	氏名	専門分野
社会学	教授 佐藤 裕	社会学, 差別論, 社会調査法 (質問紙調査および統計解析), 社会学基礎論
	教授 伊藤 智樹	社会学, 社会学的自己論, 社会調査法 (フィールドワーク等)
	准教授 志賀 文哉	社会学, 社会福祉学, 社会調査法
人文地理学	教授 大西 宏治	人文地理学, 子どもの生活空間研究, まちづくり, 防災教育
	教授 山根 拓	人文地理学, 近代歴史地理学, 都市地域学
	准教授 鈴木 晃志郎	人文地理学, 行動地理学, 観光学, 地理情報科学
文化人類学	教授 藤本 武	文化人類学, 民俗学, 地域研究, 食と農, 祭礼
	准教授 野澤 豊一	文化人類学, 音楽, 芸能, 身体, コミュニケーション
スポーツ文化史	教授 大川 信行	スポーツ文化史
スポーツ人類学	講師 田邊 元	スポーツ人類学, 民俗学, 武術研究
日本語文化	准教授 宮城 信	日本語学, 現代日本語の語彙論, 意味論, コーパス言語学, 児童の言語発達の研究
	講師 川島 拓馬	日本語学, 文法論・文法史
	教授 田村 俊介	日本文学, 『源氏物語』などの平安文学
	教授 西田谷 洋	日本文学, 近代文学
	講師 藤井 史果	日本近世文学, 嚆本の系譜及びその特質
中国言語文化	教授 森賀 一恵	中国語学, 古代中国語を対象とした文献学
	教授 大野 圭介	中国文学, 先秦兩漢時代を中心とした古典文学
	教授 齊藤 大紀	中国文学, 1920・30年代を中心とした中国現代文学
朝鮮言語文化	准教授 上保 敏	朝鮮語学, 朝鮮語の形態論・統語論, およびその歴史の変遷
	准教授 和田 とも美	朝鮮文学, 19世紀末から20世紀初頭の朝鮮文学
英語学	准教授 藤川 勝也	英語学, 意味論, 認知言語学, 機能的統語論
イギリス言語文化	教授 恒川 正巳	イギリス文学, イアン・マキューアンを中心としたイギリス小説
	准教授 結城 史郎	イギリス文学, ジェイムズ・ジョイスと19-20世紀イギリス文学

研究領域	氏名	専門分野
アメリカ 言語文化	教授 赤尾 千波	アメリカ文学, アメリカ黒人女性作家, 映画における人種イメージ
	准教授 竹腰 佳誉子	アメリカ文学, 異文化コミュニケーション
	講師 秋田 万里子	アメリカ文学, ユダヤ系アメリカ文学
ドイツ 言語文化	教授 黒田 廉	ドイツ語学, 現代ドイツ語学, 複合動詞の意味・統語
	准教授 阿部 美規	ドイツ語学, ドイツ語史, ドイツ語統語論の通時的研究
フランス 言語文化	教授 中島 淑恵	フランス文学, フランス近代詩, 比較文学
	准教授 梅澤 礼	フランス文学, フランス近代小説, フランス犯罪学
ロシア 言語文化	教授 武田 昭文	ロシア文学, 19・20世紀のロシア文学

人文・芸術プログラム 芸術文化学系

氏名	専門分野
教授 上原 雄史	建築意匠, 建築設計, アーバニズム
教授 内田 和美	プロダクトデザイン, トランスポートデザイン
教授 大氏 正嗣	建築構造デザイン, 建築設計, 公共施設数理的配置計画, 地域づくりコンテンツ, 歴史的組積造建築, 木材の新たな交叉接合等
教授 奥 敬一	風景計画学, 観光資源論, 里山学
教授 河原 雅典	働態学, 人間工学
教授 島添 貴美子	民族音楽学, 民俗芸能研究, 伝統文化論
教授 高橋 誠一	漆工芸, 漆造形, 生活工芸
教授 長柄 毅一	文化財科学, 金属材料学, 金属材料加工学
教授 西島 治樹	美術 (メディアアート)
准教授 有田 行男	デザインマネジメント, コミュニケーションデザイン, プロダクトデザイン
准教授 伊東 多佳子	美学, 芸術哲学
准教授 今淵 純子	鍛金・彫金工芸
准教授 沖 和宏	視覚伝達デザイン
准教授 三宮 千佳	東洋美術史, 日本美術史 (古代～中世)
准教授 清水 克朗	美術鑄造, 伝統的金属工芸技法, 古代鑄造技法
准教授 萩野 紀一郎	建築設計・保存・再生, インテリアデザイン
准教授 安嶋 是晴	文化政策論, 伝統産業論, 地域経営論
准教授 横山 天心	建築デザイン, 建築設計, リノベーションデザイン, まちづくり
准教授 渡邊 雅志	プロダクトデザイン, 木材造形
講師 岡本 知久	広告コミュニケーションデザイン, ブランディングデザイン, タイポグラフィデザイン, タイプ (フォント) デザイン, エディトリアルデザイン
講師 小川 太郎	漆芸
講師 長田 堅二郎	現代造形芸術, 現代美術, 立体造形
講師 平田 昌輝	彫刻, 塑造
講師 松田 愛	西洋美術史, 近現代美術論, アート・マネジメント
講師 松村 浩之	油画
講師 藪谷 祐介	コミュニティデザイン, 建築計画
講師 幸 亮太	日本画

共創経済プログラム 経済学系

氏名	専門分野
教授 青木 一益	政治学, 政策過程論, 公共政策学
教授 王 大鵬	アジア経済論, 中国経済論, 通商政策論
教授 小柳津 英知	地域経済学, 石油化学産業論
教授 垣田 直樹	国際貿易理論
教授 唐渡 広志	都市経済学, 計量経済学
教授 高山 龍太郎	社会学
教授 中村 真由美	社会学
教授 本間 哲志	金融論, 計量経済学, 産業組織論
教授 松井 隆幸	日本産業論
教授 モヴシュク オレクサンダー	計量経済学
教授 両角 良子	社会保障, 医療経済学, 労働経済学
教授 龍 世祥	環境経済学
准教授 大坂 洋	ミクロ経済学
准教授 小寺 剛	政治経済学, マクロ経済学
准教授 松山 淳	政治経済学
准教授 矢島 桂	日本経済史
准教授 山田 潤司	マクロ経済学, 金融論

共創経済プログラム 経営学系

氏名	専門分野
教授 岩内 秀徳	国際経営論
教授 上東 正和	会計情報システム論, 管理会計論, 原価計算論
教授 香川 崇	民法
教授 岸本 壽生	多国籍企業論, 国際ビジネス論
教授 坂田 博美	消費者行動論
教授 竹地 潔	労働法
教授 鳥羽 達郎	マーケティング論, 流通論
教授 橋口 賢一	民法 (主として, 債権法)
教授 平野 真由	金融取引法, 民事法
教授 馬 駿	組織と人材のマネジメント
教授 森口 毅彦	管理会計論
教授 柳原 佐智子	経営情報システム
教授 横山 一憲	オペレーションズ・リサーチ
准教授 岩本 学	民事訴訟法, 国際私法
准教授 神野 賢治	スポーツ社会学, スポーツ経営学, スポーツマネジメント論, スポーツまちづくり

氏 名	専門分野
准教授 櫻田 貴道	経営管理論, 経営組織論
准教授 眞部 典久	原価計算論, 管理会計論